

報道関係各位

2015年2月5日

「マルチエージェント・シミュレーションの産業応用」をテーマに
「MASカンファレンス2015～第15回MASコンペティション～」を開催
～各界有識者による特別講演とMASの最新成果発表の観覧者を募集～

株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長 CEO：服部正太）は、2015年3月5日（木）・6日（金）に「マルチエージェント・シミュレーションの産業応用」をテーマに「MASカンファレンス2015～第15回MASコンペティション～」を開催いたします。

構造計画研究所は、1996年から米国サンタフェ研究所のビジネスネットワークに参画し、複雑系分野の研究を継続してまいりました。現在、自社開発の複雑系シミュレーションを実現するマルチエージェント・シミュレータ「KK-MAS」および「artisoc（アーティソック）」のパッケージ販売およびコンサルティング事業を行うとともに、本技術の普及に努めています。本カンファレンスは、「artisoc」を使用されている方々に、その成果を発表いただくコンペティションを通して、MASの技術および情報交換の場を提供すると同時に、今後のさらなる普及活動に向けての新規テーマの発掘を目的としております。

開催15年目となる今年度は、「artisoc」を利用している研究者の方々に最新の研究成果をコンペ形式で発表して頂く「コンペティションの部」に加えて、MASの産業応用について取り組まれている専門家の方々にご講演いただく「講演の部」を新たに設けた「MASカンファレンス2015」として、初の2日間開催を予定しております。

コンペティションには現在14テーマの発表を予定している他、講演の部では、防衛大学校 教授 生天目 章氏、大阪大学大学院 教授 紀ノ岡 正博氏、および、株式会社構造計画研究所 常務執行役員 木村 香代子による特別講演が決定いたしました。より多くの方にマルチエージェント・シミュレーションの可能性を知っていただきたく、多数の観覧お申込みをお待ちしております。

詳細・観覧お申込みは、MASコミュニティサイト（下記URL）をご覧ください。

<http://mas.kke.co.jp/modules/tinyd3/>

■ 開催要項

開催日：2015年3月5日（木）【講演の部】

3月6日（金）【コンペティションの部】

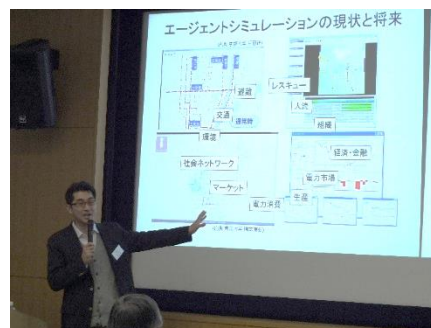
会場：コンgresクエア中野 B1F コンベンションホール

観覧：無料

※ 下記WEBサイトより事前にお申込みください。

※ 申込期限は2月27日（金）とさせていただきます。

イベントWEBサイト：<http://mas.kke.co.jp/modules/tinyd3/>



【昨年度のイベントでの講演風景】

■ 講演の部 概要

日時：3月5日（木）13：30～17：10

講演：

- 防衛大学校 生天目 章 先生
「マルチエージェントシステムの産業への応用～サプライチェーンを中心に～」
- 大阪大学大学院 紀ノ岡 正博 先生
「再生医療における予測技術の重要性～細胞挙動シミュレータの活用～」
- 株式会社構造計画研究所 木村 香代子
「日本における社会シミュレーションの普及 ～20年の活動を振り返り～」

■ コンペティションの部 概要

日時：3月6日（金）10:00～18:00

発表：1名（チーム）あたり25分（質疑応答含む）

審査員：

- 審査委員長 青山学院大学 山影 進 先生
- 審査委員（五十音順）
東京大学大学院 和泉 潔 先生
東京工業大学大学院 寺野 隆雄 先生
防衛大学校 生天目 章 先生
明治大学 水野 誠 先生

コンペ形式について：

- 自由なテーマから14編の研究内容を発表いただきます。
- 優秀賞を1～2名（またはグループ）、さらにその中から最優秀賞に値する発表があった場合は最優秀賞を1名（またはグループ）選出いたします

■ マルチエージェント・シミュレーション (MAS) について

マルチエージェント・シミュレーションとは、人間行動や経済現象・社会現象について、複数の自律的に行動するエージェント（例えば、人間）が独自の行動ルールを持って行動し、それらが相互作用することで現れる社会的な振る舞いを理解するためのシミュレーション手法です。いくつもの要素が複雑に絡み合うために従来では解釈が困難であった社会現象を理解する上で有効で、防災・避難、マーケティング、交通・人流、市場取引、合意形成、都市計画、建築設計などの分野で、広く活用されています。

■ マルチエージェント・シミュレータ「artisoc」について

artisoc (Artificial society：人工社会) は、自律的に行動するエージェントの行動ルールおよび相互作用を定義し、コンピュータの中に人工的な社会を構築することで、ダイナミックに変化する社会などの複雑系を再現・分析するマルチエージェント・シミュレータです。artisocには、モデルを記述するためのGUI環境が提供されており、誰もが簡単にモデルを構築できることをコンセプトとしています。様々な社会現象を扱うことが可能で、適用例は、電力取引自由化、雇用政策、排出権取引といった制度設計・政策の評価から、津波・洪水発生時の避難、災害救援物資の輸送、店舗・道路の人流・渋滞などを含む防災、避難、交通といった環境評価まで多岐にわたっています。

シミュレーション事例はMASコミュニティサイト (<http://mas.kke.co.jp/>) からご覧いただけます。

■ 関連書籍の出版に関して

- 2010年「artisoc で始める歩行者エージェントシミュレーション ～原理・方法論から安全・賑わい空間のデザイン・マネジメントまで～
兼田敏之 編者代表、構造計画研究所創造工学部、名古屋工業大学兼田研究室 著」 書籍工房早山
 - 2007年「人工社会構築指南 山影進 著」 書籍工房早山
 - 2002年「コンピュータのなかの人工社会 編者 服部正太、山影進」 共立出版
 - 1999年「人工社会 服部正太、木村香代子 訳」 共立出版
- 詳細：http://www.kke.co.jp/publication/decision_making/

■ 会社情報：株式会社構造計画研究所（<http://www.kke.co.jp>）

構造計画研究所は1956年に建物の構造設計業務からスタートし、それら人工構築物を取り巻く自然現象（地震、津波、風など）の解析やシミュレーションを行う業務を手がけ、さらにはソフトウェア開発をはじめとする情報通信分野、CAD/CAEなどの製造分野、そして人間の意思決定支援分野にまで事業領域を広げてきました。当社は知の循環から生まれる「工学知」を用いてより高い付加価値を提供する知識テクノロジー企業として、また「Professional Design & Engineering Firm」として、組織や社会が抱える課題を解決いたします。現在は、特に「安心・安全ソリューション」「スマートビジネス」「合意形成支援ビジネス」を重点テーマとしてとらえ、高い品質を強く意識したエンジニアリングコンサルティングを展開しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

- ・MASコンペティション、artisocに関する窓口
株式会社構造計画研究所 創造工学部 坂平／社会デザイン・マーケティング部 長谷川
TEL:03-5342-1125 e-mail: mascompetition15@kke.co.jp

- ・報道メディア関係窓口
株式会社構造計画研究所 広報・IR室 竹田／守武
TEL:03-5342-1040 e-mail: kke-pr@kke.co.jp

※ 構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。